地下鉄建設工事業における死亡災害事例（1999-2020年）

年	月	発生時	死亡災害事例	起因物（小）	事故の型	労働者規模
1999	5	10～11	青信号で横断歩道を歩行中、右折してきた10tトラックの右前面ではねられ、5mほど引きずられたのち後輪にひかれた。	221	17	30～49
2001	10	8～9	建設工事現場で上床縦桁鉄筋を組立て中、鉄筋が崩れて下部で作業中の者2名が鉄筋に押し潰された。	419	5	1～9
2002	2	1～2	地下鉄工事で掘削場所から排出された廃材を運搬等をする作業中、開口部下の掘削床部に転落した。	414	1	30～49
2005	5	13～14	地下鉄の工事現場で、軌道ホームの天井部分に排気ダクトの据付けを行っている作業中、開口部から4.5m下に墜落した。	414	1	10～29
2005	7	10～11	コンクリートポンプ車を使用して1km先のコンクリート打設箇所へ、水・セメントミルク・モルタル・生コンの順に圧送していたところ、圧送管内部で固化していたコンクリート塊が、圧送管の先端に番線で取り付けていた蛇腹ホースごと勢いよく飛び出し、前方にいた被災者らに激突した。	149	6	1～9
2020	7	22～	定格荷重２．９トンのクローラクレーンで、土砂を集積したフレコンバックを吊り上げようとしたところ、フレコンバックを置いていた単管の囲いにフレコンバックが引っかかったため、クレーンを運転していた被災者が前方を	212	7	10～

		24	確認するため頭部を出した際、身体が旋回レバーに接触し、左旋回したことから近接した場所に設けていた昇降足場の建地とクレーンのキャビンの間に頭部が挟まれ被災したもの。			29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_03.htmlに戻る。